



長岡京市第二期環境基本計画実施計画  
進捗報告書

平成 30 年度評価結果



つむぎ織りなす

“環境の都” 長岡京



長岡京市役所  
令和元年 10 月

# 目次

2018ハイライト！	1
長岡京市第二期環境基本計画について	3
1、エネルギーを大切にすまちづくり	4
2、資源循環型社会の形成	12
3、自然環境の保全	17
4、快適な都市環境づくり	22
5、協働・環境学習・エコアクションの推進	28
●第二期環境基本計画実施計画 第二期間の総括	33
●長岡京市第二期環境基本計画成果指標の現状値について	38
●平成 30 年度全体の評価	39
●長岡京市生活環境審議会の評価・意見及び市の考え方	40

# 2018ハイライト!

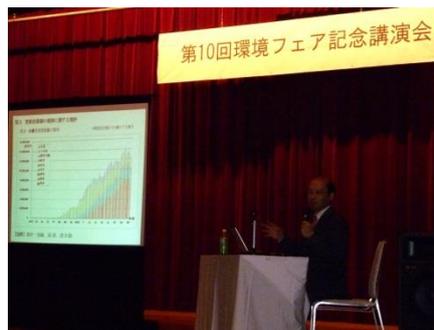
## 第10回環境フェアの開催

平成30年11月17日（土）長岡京市立中央公民館・市民ひろばで10回目となる環境フェアを開催しました。テーマは“COOL CHOICE～未来のために今日からできるかしこい選択～”とし、35の事業所や環境ボランティア団体などの出展がありました。平成30年4月17日に、市として行ったCOOL CHOICE宣言を実行に移すため、今回は環境フェアをCOOL CHOICEの啓発イベントとして位置付け、各ブースでCOOL CHOICEとかけた環境の取り組みをPRしました。当日は天気が心配されましたが、なんとか雨にも合わず、約1,200人の来場があり、各ブースは多くの参加者でにぎわい、活気に満ち溢れたイベントとなりました。

ブースでの出展以外にも市民ホールでは、午前中に、各種表彰式や「子ども環境フェスティバル」を開催しました。「子ども環境フェスティバル」では、夏休みの自由研究で環境に関する分野に取り組んだ児童3人に、工夫した点などを元気よく発表してもらいました。

また、午後からは、環境フェアの10回目記念として、京都大学大学院経済学研究科教授の諸富徹先生をお招きし、「『シュタットベルケ』とは何か～市民でエネルギーをつくり、地域経済循環を促す～」をテーマに講演会を実施しました。電力自由化などエネルギー政策の転換点にある中、本市がエネルギー分野でどう活路を見出すべきか、様々なヒントを提示いただいた内容でした。

今後も環境フェアを通じて、環境への取り組みの輪を広げていきます。



## 平成30年度“環境の都”賞受賞者



### 江川 宗治さん

長岡京市環境の都づくり会議設立のときから携わっておられ、平成16年からは代表として、10年以上にわたり熱心に活動を続けられています。また、環境フェアをはじめ環境の各種イベントにも積極的に参加されており、省エネ相談などを実施されています。平成21年からは長岡京市中央商店街振興組合とともに「アゼリアエコクール大作戦」を実施されています。さらに、平成28年度まで開催されていた「長岡京竹あそび」では行政や市民団体等と連携した連絡協議会の代表として、企画から準備、当日の運営に至るまで中心となって活躍されてこられました。このように長年にわたり、長岡京市が“環境の都”と呼ばれるにふさわしいまちになるかを考え活動され、その歩みを止めることなく更に活躍の場を広げ、活動を続けられています。



### おとくに竹あそびの会・竹遊会

平成18年に竹林整備と竹工作等の作業を楽しみ、竹林保全と竹工作指導のボランティア活動を通して、会員の技術向上や親睦を図り、竹林環境保全の普及を目的として設立されました。竹林整備やたけのこ掘り、間伐竹材を用いた竹製品の製作などの活動を続けおられ、また子どもからお年寄りまで幅広い世代を対象として、竹工作の指導、竹林整備・たけのこ掘り体験の指導なども行われています。そして竹工作普及のため、環境のイベントだけでなく、長岡京ガラシャ祭りなど市内外のイベントに積極的に参加され、竹工作の普及や、竹を身近に親しむ機会を設けられ、竹林整備に関わる人の裾野を広げることに貢献されています。

## COOL CHOICE 啓発事業

平成21年4月の環境都市宣言から10年目の節目を契機に、平成30年4月17日、温暖化対策をより一層推進していくため、市としてCOOL CHOICE宣言を行いました。そして、市民へCOOL CHOICEの啓発をするため、小学生向けの教材作成や、省エネの知恵を集めた冊子の作成、公共交通の利用促進や地元スーパーと連携した地産地消の推進などを行いました。COOL CHOICEの賛同実績として、21の団体賛同、889人の個人賛同を得ました。

